

持続可能な畜産経営のための防疫支援は

情報収集に努め、必要な対策を研究していく



おがわ きんいち
小川 金一
自由民主党田原市議員



本市農業を守るための病虫害防除対策について

問 今後、新たに発生する病虫害が、他の農作物へ影響する可能性をどのように捉えているのか。

答 新たに発生する病虫害について、同一の農薬を繰り返し利用することでの抵抗性害虫の出現や、温暖化などの気候変動に伴う病虫害の生息域の変化、さらには人の往来などの社会的活動に伴う外来昆虫の侵入など複数の要因により、その他の農作物への影響の可能性は否定できないものと捉えている。

畜産業における防疫体制の強化と衛生対策について

問 サシバエの発生源対策や駆除に対する市の考え方は。

答 県東部家畜保健衛生所や県田原農業改良普及課の指導の下、サシバエに産卵させない環境を保つため、畜舎や周辺の小まめな除ふんと下草刈り、畜舎に入れないための防虫ネット設置、そして成虫

にさせないための脱皮阻害剤の散布などを組み合わせ、より効果的な防除を行っている。まずは個々の畜産農家がこれらの取り組みを行うことで、生産性向上に寄与すると考えている。

問 国内外で確認される新たな家畜伝染病に対し、市としてどのように情報収集し、それを農家と共有しているのか。

答 田原市家畜防疫ニュースの発行や、家畜防疫に関する研修会を定期的実施している。国内外で確認される家畜伝染病の情報収集や畜産農家への共有については、その発生の都度、県東部家畜保健衛生所から家畜伝染病の発生状況について、市や関係団体、畜産農家へ適切に情報共有している。

問 持続可能な畜産経営のため、市独自の防疫支援策を拡充することが必要と思うが、その考え方は。

答 家畜へのワクチン接種や車両消毒シャワーゲートの運営など、今後も多様な支援策を継続していくことが重要である。引き続き情報収集に努め、必要な対策を研究していきたい。

議員と花はらトーク \開催します/

日 時： 令和8年1月31日（土）
午後6時30分から午後8時まで

場 所： 高松市民館

対 象： 子育て中のパパ・ママ、移住者、
農業者、高齢者

定 員： 30人（受付順）

意見交換会テーマ：あなたが困っていること

申込方法： 1月28日（水）までに右の二次元コード
からお申し込みください。

↓ 申込みはこちらから



■実施方法： 5～6名程度のグループに分かれて、テーマについて意見交換を行います。

■問い合わせ先： 田原市議会事務局

☎ 0531-23-3533 ☒ gikai@city.tahara.aichi.jp